

大阪フィルハーモニー交響楽団 八尾演奏会

指揮者、
ソリスト決定!

2021年2/7日 大ホール



Kosuke TSUNODA

指揮者:角田鋼亮さんメッセージ

大阪フィルと深くかかわりを持つプリズムホールで、音楽が大好きな八尾の皆さんに演奏をお届けできることをとても楽しみにしています。新型コロナの影響でコンサートが次々と中止になり、制限されたホールで聴く今だからこそ、不安を感じている皆さんの心に、クラシック音楽の力で「希望の火」を灯したい。この演奏会で皆さんに感動してほしい名曲の数々をお届けします。



Miyuji KANEKO

ソリスト:金子三勇士さんメッセージ

昨年に引き続き2回目の八尾市文化会館での演奏です。この八尾演奏会での演奏とプレトークで皆さんにお会いできるのをとても楽しみにしています。八尾の皆さんが、演奏を聴いてくださって、励まされ、幸せな気持ちになっていただくことが「音楽がもつ無限の力」だと思います。この困難を乗り越えて、会場でお会いしましょう!

12/9に金子さんのトークとピアノが楽しめるプレトーク開催!

大阪フィルハーモニー交響楽団に聞いてみました!

Q. コロナ禍による影響を受けていらっしゃると思いますが、活動の再開具合はどうでしょうか?

2月末から中止・延期が相次ぎ、6月中旬から少しずつ活動を再開しはじめたものの、まだまだ例年通りといえるには程遠い状況です。

Q. 演奏者間の気遣いもあるでしょう。オーケストラでの対策とはどのようなものですか?

検温や消毒はもちろんのこと、演奏者同士の間隔を開けるため、弦楽器奏者は譜面台を通常2人で1本のところ1人ずつ使っています。また、管楽器以外は全員マスクを着用して演奏しています。

Q. オーケストラの編成を小さくせざるを得ない状況で、重厚な大阪フィルサウンドを作り出すための工夫はありますか?

6月の定期演奏会では当初、演奏者100人規模の曲目を予定していました。しかし、ステージ上の人数を減らして大阪フィルの持ち味を存分に発揮させるには、我々が得意とする伝統的なドイツ音楽をお届けするのがベストだと考えました。そこで、曲目をベートーヴェンの交響曲第4番と第5番に変更し、一回り小さい弦編成で演奏しました。



▲フェスティバルホールでの演奏会。指揮者も弦楽器奏者もマスク着用。

Q. 少ない編成ならではの、魅力ある曲はありますか?

先日行ったサマーコンサートでは、まさに今だからこそ楽しめる曲を演奏しました。P. デュカスのバレエ組曲「ラ・ペリ」のファンファーレは金管のみ、ホルストの「吹奏楽のための第1組曲」は管楽器のみと、オーケストラなのに管だけ!?と思ってしまうような曲を取り入れました。また、シベリウス「アンダンテ・フェスティーボ」では、弦楽器とティンパニという珍しい編成でした。出演人数を減らすというコロナ対策を逆手に取り、今だからこそこのプログラムで開催するコンサートが他にもあるかもしれません。

Q. 最後に、今回の八尾演奏会の魅力をお願いします!

今回の八尾演奏会では、前半では2020年に生誕250周年を迎えるベートーヴェンの荘厳なメロディを、後半では「コロナで沈みがちな気持ちを明るくする」軽快なメロディの数々を予定しています。前半に演奏予定のベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番「皇帝」は、金子三勇士さんの素敵なピアノをどうぞ堪能ください。令和3年度からプリズムホールは改修に入ります。改修前の慣れ親しんだ大ホールで聴く大阪フィルのサウンドを、どうぞお楽しみに!

プログラム

ベートーヴェン ピアノ協奏曲第5番「皇帝」ほか、
指揮者・大阪フィルとプリズムホールで企画中! 乞うご期待!

文学座公演『五十四の瞳』 11/18(水) 小ホール

演劇界屈指の最強タッグが贈る、
瀬戸内海に浮かぶ小さな島でおこった、
ひとつの学校をめぐる物語

作:鄭義信 演出:松本祐子
出演:たかお鷹/神野崇/相川春樹
越塚学/杉宮匡紀/山本道子
頼経明子/松岡依都美

その島には、日本人と朝鮮人がともに学ぶ学校があった
戦後、連合軍の指令で朝鮮人学校の閉鎖が求められる中、「子どもたちに教育を受けさせたい」という
島民たちの熱意でその学校は秘かに存続しつづけていたのだ——

作:鄭義信(チョン・ウジン)

今回の作品は、鄭さんの出身地でもある兵庫県姫路にある、小さな島が舞台。民族を超えて1つの学校で学ぶ子どもたちのエピソードや、表向きは閉校したようになっていた学校を島民たちが守り続けていたという実話にひかれて、作品の構想ができたといいます。逆境の中にあってもたくましく生きる人間の姿をユーモアたっぷりに描く鄭さんの作品に、誰もが温かな気持ちになれます。

93年に「ザ・寺山」で第38回岸田國士戯曲賞を受賞。舞台「焼肉ドラゴン」では数々の演劇賞を総なめにした。同作は2018年に映画化もされた。



©森原優希

演出:松本祐子(マツモト・ユウコ)



鄭さんの作品を演出するのは作品数で言うとこれで8作品目、回数で言うと15回目になります。演出すればするほど、作品の中にある新たな痛みや憤り、そして新たな優しさと強い願いに気付かされます。新作は「関西のとある小さな島にひとつしかない学校」をめぐる物語です。差別や教育という永遠に続くむづかしい問題を、鄭義信さん特有のユーモアで「優しく面白く賑やかしく」描きます。今だからこそ、ご家族やお友達と一緒に見ていただきたい作品です!どうぞご期待くださいませ。

2019年「スリーウィンターズ」で紀伊国屋演劇賞個人賞、読売演劇大賞最優秀演出家賞。2016年にはプリズムチャームプロダクションシリーズで八尾に1カ月滞在して作品づくりを行った。

ピックアップニュース!知っておきたいプリズムホールの旬情報

動画で楽しむプリズムホールその1
日本一分かりやすい
「河内音頭の踊り方」動画

河内音頭の代表的な3つの踊り方をご紹介します。手足の運び方や角度などをていねいに解説したわかりやすい内容。これらいつでもどこでも河内音頭を踊れるようになりますよ!



出演・監修
山崎美恵さん
出演
かわち撫子会のみなさん
動画はこちら▶



動画で楽しむプリズムホールその2
舞台の裏の裏まで案内する、
映像版「バックステージ・ツアー」

この4月から舞台チームのメンバーに加わった、イケメン(?)舞台スタッフがユーザーさんながらにプリズムホールの舞台裏をご案内します。毎年45人しか参加できないこのツアーが、これなら誰でもCome on!

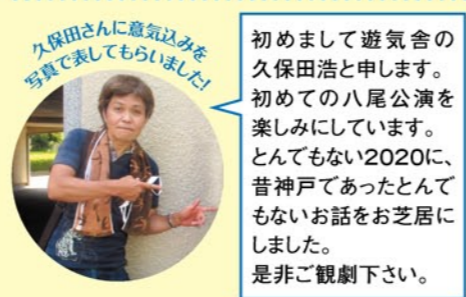


近日公開!

関西のこれからを期待される劇団を
応援するPPP※ 今年も
遊気舎『おじいちゃんときものたち』

※Prism Partner's Produce

関西の老舗劇団「遊気舎」が登場!今回は戦争をテーマにしつつも、ユーモアを交えて描く劇団主宰の久保田さんの新作に期待が高まります。



久保田さんに意気込みを
写真で表してもらいました!

初めまして遊気舎の久保田浩と申します。初めての八尾公演を楽しみにしています。とんでもない2020に、昔神戸であったとんでもないお話をお芝居にしました。是非ご観劇下さい。

ベテラン制作スタッフの20年越しの想いが実った!
グドウ・シゲノリ・
フルート・アンサンブル

「工藤さんをプリズムホールに!」と構想をあたためてなんと20年。このたび実現したフルート界の重鎮のコンサート。市民プレイヤーとの共演にも注目。

ひときわ華やかなフルートでのアンサンブルをお聴きください。名曲の数々を国内外のコンクールで栄光を勝ち取った若者たちと共演いたします。お楽しみに!



工藤重典

笑福亭鶴瓶、
笑助をしごく落語会

八尾出身の笑福亭笑助さんの凱旋公演!
笑助さんに聞きました。

出身校は?
亀井小・中学校
八尾人間だなと思うとき
河内音頭好きに育っている
(出陣は河内音頭)
八尾出身で得をしたこと
FMちやおて
レギュラー番組がもてた



大師匠のつるべさんも
駆けつけ! 笑福亭鶴瓶



笑福亭笑助

僕たちの世界では自分の師匠の師匠のことを大師匠(おおししょう)といいます。この度は大師匠の胸を借り、生まれ育った地元で落語会ができるのは光栄に思います。おもいっきり頑張ります!ちなみに僕の師匠は笑福亭笑助です!

だれでも、きがねなく音楽を
フレンドリーコンサート

相愛大学の学生が、バリアフリー対応の安心空間で素敵な音楽を聴かせます。赤ちゃんや障がいのある方も楽しめる11時の部、心温まる名曲をお贈りする14時の部の2公演です。



皆さまと心をつなぐ! 幸せを感じられるひと時を一緒に過ごしましょう!

上門文香 (ヴァイオリン)
船迫真衣 (サクソフォン)
肖錦東 (パーカッション)
石垣真結子 (パーカッション)
谷口百花 (ピアノ)
中野彩 (フルート)